

水曜夜、美術館で語らう



NHKでの半生を語る小泉公二さん

地元ゆかりの識者招くイベント始動

八戸

八戸学院地域連携研究センター(福田弥夫センター長)は23日、八戸市美術館内の「まちなかラボ」で、コーヒーを片手に八戸ゆかりの識者の話を楽しむ「ウェンズデーナイトカフェ」を初開催した。美術館の利用者が少ない水曜日の来客増に貢献しつつ、中心街でさまざまな人が語らう場の創出を目指す。(桑田友人)

初回の講師は 制作秘話など紹介 元NHK小泉さん

福田センター長が昨年、ラボで講演したことをきっかけに発案。今後は月2回程度、水曜夜に開催していく予定だ。

初回の講師は、同市出身で「につぼん縦断 ころろ旅」などの番組を手がけた元NHKの小泉公二さん(68)。参加者10人が、派遣された先々の部署で苦闘しながら、信頼を勝ち得ていったテレビマンの半生に耳を傾けた。

小泉さんは海外勤務を経て帰国した際、同世代と比べてディレクターとしての経験が浅かったため「『企業広告になつてはいけない』といった制約があつて、誰もやりたがらない経済をやるう」と奮起。中国にルーツを持ち、アジア経済に深く根を張る華僑の素顔や考えに迫る番組を制作した秘話などを、柔らかな口調で紹介した。

次回は30日午後5時半〜6時半、八戸市出身で三井住友銀行の5カ所の支店長などを歴任した関向敏夫さんが講師を務める。事前申し込みが必要。詳細は同センターのホームページで確認できる。